

生きるということは、
ただ呼吸をするだけ。

弟の死をきっかけに訪れた静寂の島で取り戻したものは——。
今を生きるあなたへ贈る ころの処方箋

日本の美しく険しい自然のもと人間の回復の物語を紡いだのは、ベルギー女性監督ヴァンニヤ・ダルカンタラ。フランスのオリヴィエ・アダムによる小説を、ベルギー・フランス・カナダ・日本からなる4カ国混成スタッフと共に、穏やかに心洗われる物語へと昇華させた。主人公アリスには、セザール賞常連女優であり、映画『奇跡のひと マリーとマルグリット』のイザベル・カレ、もう一人の主人公ともいえる元警察官のダイスケを、韓国映画『哭声 / コクソン』で国内外の注目を浴びた國村隼が、深みのある芝居をみせている。さらにアリスが出会う地元住人ジロウを安藤政信、好奇心旺盛な女子高生ヒロミを門脇麦、ダイスケの元に身を寄せる自殺志願者を長尾奈奈、葉山奨之が演じている。忙殺される日常の中で失った何かに気づかされる、心に染み入るドラマが待望の日本公開となる。

物語

夫と思春期の子供二人とフランスで暮らすアリス（イザベル・カレ）の元に、長い間旅に出ていた弟ナタンが戻ってきた。日本で生きる意欲を見つけたと幸せそうに語った数日後、弟は突然この世を去ってしまう。弟の死にショックを受けたアリスは、弟を変えた人々、そこにある何かに出会うため、ひとり日本を訪れる。弟の足跡をたどりアリスが行き着いたのは、投身自殺の名所と知られる崖のある海辺の村。そこで出会った元警察官の男ダイスケ（國村隼）は、悩める人々の心に寄り添い、自殺を思いとどまらせていた。求めすぎず、静かに傷を癒すことのできるその場所にアリスはどこか安らぎを感じる。そしてダイスケをはじめジロウ、ヒロミ、ミドリ、ハルキら、その村で出会った人々との交流が、静かにアリスの心に変化をもたらしていく——。



イザベル・カレ 國村隼
安藤政信 門脇麦 長尾奈奈 葉山奨之
ニルス・シュナイダー ファブリツィオ・ロンギオーネ 古館寛治

監督・脚本：ヴァンニヤ・ダルカンタラ / 原作：オリヴィエ・アダム「Le cœur régulier」

撮影監督：ルーベン・インベンス / 美術：イザベル・ジラルド、富田麻友美 / 音楽：セルジュ・ナカウチ・ペレティエ / 編集：ルド・トロク / 録音：ロラン・ワフロン、フレグリック・クロティエ、

スタファン・バガロン / 衣裳：マリー・カレック 白石敦子 / ヘアメイク：リサ・ショッカー / 助監督：フレディ・バーホーベン / プロダクションマネージャー：ヴァンサン・カナート

キャスティング：オレリー・ギヤード 三宅はるみ / 日本プロダクションスーパーバイザー：松崎翔、ブライアン古保、原田博志 / 衣装協力：クラブ・ロム・ヌーサー・アンヌ・ロール・ダガン

プロデューサー：デニス・ドルカンブ ベルトラン・ゴア / 配給・宣伝：ブースタープロジェクト © Need Productions / Blue Monday Productions

www.kokoro-movie.jp

11.4 [土] ロードショー!

渋谷・文化村前交差点左折

ユロスペース
EUROSPACE

TEL:03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

